

18日から

デジタルものづくり 学内施設 広島工業大が一般開放



大型刺しゅうマシンなどがそろうファブラボ

広島工業大（広島市佐伯区）が18日から、3D

間などに有料で利用できる。

プリンターやレーザーカッターを備えた学内の「デジタルものづくり施設 Fab Lab」を一般開放する。平日の夜

施設には、紫外線を利用してアクリル板やプラスチックに写真などを印刷するUVプリンター、Tシャツや布かばんにイ

ラストなどを印刷する転写プリントを置く。最大12色を混ぜて刺しゅうできる大型マシンもある。ものづくりやデジタル技術に触れる機会をつくろうと企画した。教学支援部の平本泰理さんは「誰もが気軽に自由に作品づくりに挑戦してほしい」と呼びかける。

施設利用料は一般500円、高校生以下無料。機器ごとに別途、材料費が必要で、スタッフによる個別の技術指導（30分千円）もある。平日午後5～8時、土曜日午前10時～午後5時に利用できる。ファブラボ ☎082



(921) 428311
平日午前8時半～午後5時
15分。
(治徳貴子)